

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 鈴茂器工株式会社

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小根田 育治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 藤田 進一

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,926	△2.1	181	△26.3	190	△25.2	103	△29.4
21年3月期第3四半期	4,011	—	246	—	255	—	146	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	20.84	—
21年3月期第3四半期	29.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	6,538	5,531	84.6	1,115.31
21年3月期	6,328	5,496	86.9	1,108.25

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,531百万円 21年3月期 5,496百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,480	4.3	365	33.6	365	29.1	209	23.6	42.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	4,960,000株	21年3月期	4,960,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	一株	21年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	4,960,000株	21年3月期第3四半期	4,958,070株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項につきましては3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計年度におけるわが国経済は、国の経済対策の効果により一部に回復の兆しが見えるものの、雇用環境の悪化に伴う生活防衛意識から個人消費が低迷しており、引き続き厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、多様化する嗜好への対応、所得の伸び悩みによる消費者マインドの低下、さらに激化している企業間競争などにより依然として厳しい環境が続いております。大手の回転寿司業態や寿司・弁当などの中食業態においては比較的順調に推移していると思われまます。しかしながら、店舗運営の効率化の観点から出店計画の見直しや、店舗の統合・退店などにより設備投資の抑制の影響が出ております。

このような情勢の中、当社グループは、お客様の効率化・省力化にお応えできるよう、FOOMA JAPAN(フーマジャパン)やスズモフェアなどの展示会の開催やお客様の満足度向上の視点に立ったきめ細かい販売活動を展開いたしました。海外については、為替市場の変動の影響を受ける中、アジア地域、オセアニア地域、ヨーロッパ地域を中心に販売活動を展開いたしました。また、子会社の株式会社セハージャパンについては、新型インフルエンザの影響もありアルコール系洗浄剤・除菌剤等の販売が極めて順調に推移しました。

この結果、当第3四半期における売上高合計は39億26百万円(前年同期比2.1%減)となりました。製品内訳は、寿司・おむすびロボット等の製品売上高27億38百万円(前年同期比9.1%減)、炊飯関連機器および食品資材等の売上高10億99百万円(前年同期比19.5%増)、その他売上高88百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

また、利益につきましては、営業利益1億81百万円(前年同期比26.3%減)、経常利益1億90百万円(前年同期比25.2%減)、四半期純利益1億3百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加し65億38百万円となりました。これは主に、たな卸資産が91百万円、有形固定資産が97百万円減少した一方で、現金及び預金が2億48百万円、受取手形及び売掛金が1億84百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加し10億6百万円となりました。これは主に、買掛金が1億41百万円、未払法人税等が51百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し55億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、四半期純利益により1億3百万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成21年5月14日公表時から変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,350,364	2,101,751
受取手形及び売掛金	910,741	726,180
たな卸資産	732,358	823,787
繰延税金資産	66,514	66,400
その他	33,505	65,963
貸倒引当金	△968	△988
流動資産合計	4,092,516	3,783,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,003,869	1,045,241
土地	766,170	766,170
その他(純額)	97,956	153,586
有形固定資産合計	1,867,996	1,964,999
無形固定資産		
のれん	24,252	29,849
その他	44,815	53,279
無形固定資産合計	69,068	83,128
投資その他の資産		
投資有価証券	230,762	217,474
繰延税金資産	125,345	129,530
その他	166,424	164,132
貸倒引当金	△13,216	△13,519
投資その他の資産合計	509,315	497,617
固定資産合計	2,446,380	2,545,744
資産合計	6,538,896	6,328,839
負債の部		
流動負債		
買掛金	333,299	191,959
短期借入金	20,040	29,040
未払法人税等	54,689	3,219
賞与引当金	63,090	111,132
その他	188,979	166,045
流動負債合計	660,098	501,396
固定負債		
長期借入金	1,980	5,760
退職給付引当金	251,953	230,685
役員退職慰労引当金	4,433	75,163
その他	88,474	18,936
固定負債合計	346,840	330,545
負債合計	1,006,939	831,941

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,534,770	4,505,809
株主資本合計	5,505,820	5,476,859
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,137	20,038
評価・換算差額等合計	26,137	20,038
純資産合計	5,531,957	5,496,897
負債純資産合計	6,538,896	6,328,839

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,011,940	3,926,949
売上原価	2,234,693	2,202,419
売上総利益	1,777,247	1,724,529
販売費及び一般管理費	1,531,108	1,543,097
営業利益	246,139	181,431
営業外収益		
受取利息	3,306	4,530
受取配当金	1,776	1,893
保険解約返戻金	3,224	—
受取保険金	—	1,450
その他	2,832	3,647
営業外収益合計	11,140	11,521
営業外費用		
支払利息	525	361
手形売却損	711	592
売上割引	807	1,236
その他	81	3
営業外費用合計	2,125	2,194
経常利益	255,155	190,759
特別利益		
投資有価証券売却益	231	—
貸倒引当金戻入額	3,568	—
特別利益合計	3,799	—
特別損失		
有形固定資産除却損	16	315
特別損失合計	16	315
税金等調整前四半期純利益	258,938	190,444
法人税等	112,560	87,083
四半期純利益	146,378	103,360

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,275,404	1,400,154
売上原価	691,236	790,604
売上総利益	584,168	609,550
販売費及び一般管理費	502,915	504,182
営業利益	81,253	105,368
営業外収益		
受取利息	1,194	1,352
受取配当金	170	283
その他	563	1,171
営業外収益合計	1,928	2,807
営業外費用		
支払利息	169	100
手形売却損	259	221
売上割引	322	547
その他	39	3
営業外費用合計	789	873
経常利益	82,391	107,302
特別利益		
投資有価証券売却益	231	—
特別利益合計	231	—
特別損失		
有形固定資産除却損	—	50
特別損失合計	—	50
税金等調整前四半期純利益	82,622	107,251
法人税等	36,365	49,458
四半期純利益	46,256	57,793

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし